

- 問1 13世紀後半の歴史年表において、「文永の役がおこる」と記される時期に、モンゴル帝国の第5代皇帝として国号を「元」と定め、日本への大規模な遠征を主導した人物は誰か、名称を答えなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. オゴタイ・ハン 2. チンギス・ハン 3. ティムール 4. フビライ・ハン
- 問2 1232年に北条泰時が制定した御成敗式目について、この法律が制定された目的と内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため 2. 鎌倉幕府の将軍による独裁体制を確立し、執権の権限を制限するため 3. 律令を強化し、朝廷の公家や寺社が持つ特権を武士にも等しく与えるため 4. 生活に困窮した武士を救済するため、売却された領地を無償で取り戻す権利を認めるため
- 問3 13世紀初頭に成立したモンゴル帝国とその指導者であるチンギス=ハンについて、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 地中海沿岸の都市国家を征服し、古代ギリシャの文化を継承する地中海帝国を再興した。 2. 仏教を国教として定め、東南アジアから日本に至るまで僧侶を派遣して文化的な統一を図った。 3. モンゴルの諸部族を統一し、騎馬軍団の武力を背景にユーラシア大陸にまたがる空前の大帝国を築いた。 4. 漢民族による伝統的な官僚制を重視し、科挙制度を導入することで文治政治を徹底した。
- 問4 13世紀にフビライ・ハンがモンゴル帝国の国号を「元」と改め、都を大都に移した時期の日本の政治状況について、正しい説明を選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 足利尊氏が征夷大將軍となり、京都に幕府を開いた。 2. 織田信長や豊臣秀吉が、全国統一に向けて各地の戦国大名を屈服させていた。 3. 平氏を滅ぼした源頼朝が、鎌倉に幕府を開き全国を統治し始めた。 4. 北条氏が執権として幕府の実権を握り、元からの服属要求を拒否した。
- 問5 鎌倉時代に栄西や道元によって広められた禅宗は、厳しい修行や座禅を通じて悟りを得ることを特徴としています。この教えが当時の武士たちの間で高く評価され、受け入れられた理由として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 法華経こそが国を救う唯一の教えであると言いき、幕府の権威を強固にしたため 2. 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるという、簡潔な教えだったため 3. 加持祈祷によって現世での病氣平癒や一族の繁栄を約束したため 4. 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため
- 問6 北条泰時が、武士の社会における慣習や道徳を整理して「御成敗式目」を制定した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため 2. 天皇や貴族の生活を厳しく制限し、幕府が朝廷を完全に支配するため 3. 将軍の跡継ぎ問題を解決するために、北条氏の権力を強化するため 4. 農民に対して土地の売買を禁止し、年貢を確実に納めさせるため
- 問7 13世紀後半、2度にわたる元寇の際の軍役負担や、恩賞として与えられる土地の不足によって生活が困窮した御家人を救済するため、鎌倉幕府が出した法令を何といいますか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 墾田永年私財法 4. 徳政令
- 問8 日本史における「中世」の社会構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 武士が政治の主役となり、将軍と御家人の間で土地の仲介による主従関係が結ばれた。 2. 版籍奉還や廃藩置県が行われ、四民平等の考えのもとで中央集権化が進んだ。 3. 町人文化が華ひらき、株仲間を中心とした商業活動が幕府の経済を支えた。 4. 天皇を中心とした律令制度が整備され、全国の土地と人民を国家が直接支配した。
- 問9 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、京都の警備や西国の御家人の統制を行うために京都に設置した機関の名称として正しいものを選びなさい。この機関は、幕府の組織図において、中央の侍所や政所、問注所といった実務機関とは別に、京都に置かれた出先機関として位置づけられています。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 鎮西探題 2. 六波羅探題 3. 鎌倉府 4. 大宰府
- 問10 鎌倉時代、紀伊国の阿呂河荘において、農民たちが「ミミヲキリ、ハナヲソギ（耳を切り、鼻をそぎ）」と脅されるなどの不法行為や、過酷な労役を課されたことを幕府に訴えた際、その訴えの対象となった職は何か。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 地頭 2. 守護 3. 六波羅探題 4. 管領
- 問11 鎌倉幕府において、将軍が御家人のもともとの領地を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする行為に対し、御家人が軍役や警備によって忠誠を誓った主従関係を何といいますか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 封建的な寄進地系荘園 2. 御恩と奉公 3. 寄進と安堵 4. 地頭と守護の設置
- 問12 1221年、鎌倉幕府の政治が展開される中で、後鳥羽上皇が朝廷の権力を回復しようとして兵を挙げたものの、幕府軍に敗北して隠岐島に流された一連の出来事を何というか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 建武の新政 3. 平安京遷都 4. 院政の開始
- 問13 鎌倉時代に関する歴史年表において、幕府が鎌倉と京都を結ぶ道路を整備した記述が見られます。その後、13世紀後半になると、鎌倉幕府が迅速な通信連絡を確保するために、この「駅制（えきせい）」を九州地方まで延長する要因となった出来事はどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 元軍による襲来 2. 保元の乱の発生 3. 応仁の乱の勃発 4. 奥州藤原氏の征服
- 問14 鎌倉幕府が置かれ、日蓮宗などの布教活動も盛んに行われた都市である鎌倉の地形や構造について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 広大な平地に位置し、堀や石垣で囲まれた武家屋敷と町人地が明確に区別された城下町の構造を持っている。 2. 三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、中心部には鶴岡八幡宮から延びる若宮大路が配置されている。 3. 大陸の都市計画を参考に、中央に天皇の住まいを置き、碁盤の目状に道路が整備された平城京のような構造である。 4. 明との貿易などで栄えた港町であり、会合衆と呼ばれる有力な商人たちによって自治が行われていた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 フビライ・ハン	モンゴル帝国を建国したチンギス・ハンの孫にあたる人物です。都を大都（現在の北京）に移して国号を元とし、東アジア全域を支配下に置こうとしました。日本に対しても服属を求めましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役、1281年の弘安の役という2度の遠征（元寇）を行いました。
問2	答え 1 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため	承久の乱の後、地頭の補任が増えたことで、貴族や寺社と武士との間で領地をめぐる紛争が急増しました。これに対し、執権の北条泰時は、道理やそれまでの武士社会の慣習を基準とした明確な裁判の基準を示すことで、不公平な判決をなくし、武士たちの不満を解消しようとした。当初は借金の帳消し（徳政）などを目的としたものではありません。
問3	答え 3 モンゴルの諸部族を統一し、騎馬軍団の武力を背景にユーラシア大陸にまたがる空前の大帝国を築いた。	チンギス＝ハンは、それまで分裂していたモンゴルの諸部族をまとめ上げ、強力な軍勢力を背景に領土を急速に拡大させました。その支配領域はアジアからヨーロッパ東部にまで及び、ユーラシア大陸を横断する広大な帝国となりました。他の選択肢にある仏教による文化的統一や地中海帝国の再興などは、モンゴル帝国の成立過程や特徴とは合致しません。
問4	答え 4 北条氏が執権として幕府の実権を握り、元からの服属要求を拒否した。	フビライ・ハンが元を成立させたのは13世紀の鎌倉時代です。当時の鎌倉幕府では北条氏が執権として政治を動かしており、元からの通牒（服属を求める手紙）を拒絶したことで元寇につながりました。源頼朝の幕府開設は12世紀末、足利尊氏の室町幕府は14世紀、信長や秀吉の時代は16世紀後半の出来事です。
問5	答え 4 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため	禅宗は、念仏のように他者の力（他力）に頼るのではなく、自分の努力で精神を高める「自力」の教えです。死と隣り合わせで戦い、日々の自己鍛錬を欠かさなかった武士にとって、禅宗のストイックな精神性は非常に共感しやすいものでした。これが、のちの武士道などの精神形成にも影響を与えることとなります。
問6	答え 1 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため	鎌倉幕府の支配力が全国に広がるにつれ、武士の間で土地をめぐる複雑な争いが増加しました。北条泰時は、武士社会の「ならわし」に基づいた明確なルールを文書化することで、身分の上下に関係なく、納得感のある公平な裁判が行えるようにすることを目指しました。この法律は、のちの室町幕府や戦国大名が定めた分国法にも大きな影響を与えました。
問7	答え 4 徳政令	元寇での防衛戦では、防衛に成功したものの得られた土地がなかったため、幕府は御家人に十分な恩賞を与えることができませんでした。困窮した御家人を救うために借金を帳消しにする法令が出されましたが、これにより貨幣経済の混乱を招き、かえって幕府への不満が高まる結果となりました。
問8	答え 1 武士が政治の主役となり、将軍と御家人の間で土地の仲介による主従関係が結ばれた。	中世は、鎌倉幕府の成立に代表されるように、武士が自らの土地支配を確実にするために組織化された時代です。将軍が臣下の領地を保証し、臣下が軍役などの奉公を果たす「御恩と奉公」の関係は、中世社会を象徴する封建的な仕組みです。これに対し、律令制度は古代、版籍奉還は近代、町人文化の隆盛は近世の特徴です。
問9	答え 2 六波羅探題	承久の乱で後鳥羽上皇を中心とする朝廷軍を破った鎌倉幕府が、二度と朝廷が幕府に反旗を翻さないよう監視を強化するために設けたポストです。これにより、それまで朝廷の勢力が強かった西日本に対しても、幕府の支配力が強く及ぶようになりました。
問10	答え 1 地頭	鎌倉時代において、現地に派遣されたこの職は次第に力を強め、貴族や寺社などの荘園領主の権利を侵したり、農民に対して不当な支配を行ったりするようになった。阿豆河荘の農民の訴状は、こうした地頭の横暴な振る舞いを示す代表的な事例である。
問11	答え 2 御恩と奉公	鎌倉時代の主従関係は土地を媒介としていました。将軍が御家人に対して行う「御恩」には、先祖伝来の領地を保証する「本領安堵」や、新しく領地を与える「新恩給与」があります。これに対し、御家人が将軍に対して「奉公」として軍役や警備（京都大番役・鎌倉番役）を果たすことで、この封建的な契約関係が成立していました。
問12	答え 1 承久の乱	鎌倉幕府の成立後、源氏の将軍が途絶えた混乱に乗じて後鳥羽上皇が実権を取り戻そうと試みましたが、北条政子の演説などにより結束した御家人の軍に敗れました。敗れた上皇は隠岐島へ配流となり、朝廷の力は大きく低下しました。
問13	答え 1 元軍による襲来	鎌倉幕府は当初、幕府の所在地である鎌倉と、朝廷のある京都との連絡を最重視していました。しかし、13世紀後半にモンゴル帝国（元）が九州北部に侵攻してくると、現地の戦況をいち早く把握し、御家人への指令を迅速に伝える必要が生じました。この国防上の要請から、通信網である「駅制」が九州まで拡張・整備されました。
問14	答え 2 三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、中心部には鶴岡八幡宮から延びる若宮大路が配置されている。	鎌倉は、北・東・西の三方を山に、南を相模湾に囲まれた「天然の要塞」とも呼べる地形をしており、防御に適していたため幕府の拠点に選ばれました。都市の中心には、源頼朝が整備したとされる鶴岡八幡宮と、そこから海に向かって直線的に延びるメインストリートの若宮大路が配置されています。